



八束のひろは

～八束公民館報 第38号～



発行：松江市八束公民館運営協議会 〒690-1404 松江市八束町波入2060 Tel(0852)76-3663 Fax(0852)76-3669



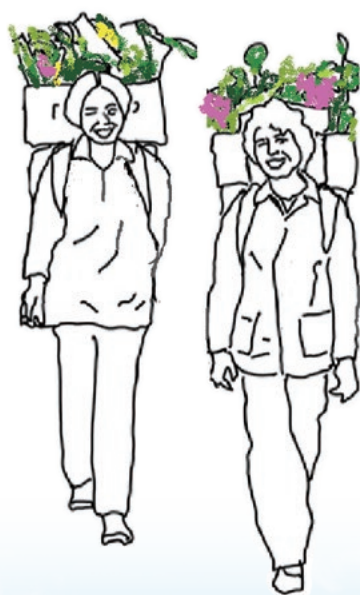
大根島の花売りについて

島根大学副学長
法文学部教授（社会学）

片岡 佳美

ここ二年ほど、大根島の花売りの方々の生活史に惹かれ、八束町に通って調査を行っています。

八束町のみなさんに説明するまでもありませんが、大根島では昭和三〇年代以降、花卉、とりわけ牡丹苗の行商が盛んになりました。花売りの担い手の多くは既婚女性で、彼女たちは一月ほど家族と離れ、全国各地を回り商売をしていました。その間は夫や姑が家事や子どもの世話を担い、いわば一家総出で女性たちの稼ぎを支えていました。ちょうど高度経済成長期、都市部ではサラリーマンの夫と専業主婦の妻の家族が主流となっていくなか、大根島ではそれとは異なる家族のあり方が一般的でした。こうした点に関心を抱き、当時花売りを担っていた女性たちやそのご家族にインタビュー調査を行っています。



花売りの方々からは、苗木を詰め込んだ重い籠を背負って見知らぬ土地で商売をする苦労や、幼い子どもを残して出かけることへのつらさや申し訳なさ、それでも生活のため一家で協力し花売りに取り組んできたこと、そして島ではどの家でもそうした暮らしが当然で都会の主婦を羨むこともなかったことなど、印象深いお話が語られました。しかし、より印象的だったのは、花売りを通して新たな地で人と出会うなかで自らの世界が広がっていったことを、いきいきと語っておられたことです。もちろん花が売れた喜びも大きかったが、それ以上に、自ら行き先を決め自由に動き、そこで新たな発見や出会いを経験するのが楽しかった、ということでした。そうした経験こそが、長年にわたって花売りを続ける原動力となっていたことがうかがえます。

「労働」というと、自己や家族が犠牲を強いられる面がまず想起されがちです。確かに、花売りの方々も苦労され、またその子どもたちもさみしい思いをしてきたという点では、彼女たちの労働は本人や家族にとって「犠牲」であったと言えます。しかし同時に、花売りの方々にとって労働は自由や生きがいでもありました。また、家族で協力し合いながら働いてきたという点では、家族の絆を示す営みでもあったのです。そう考えると、近年の「ワークライフバランス」という言葉は、労働することと「生」や「家族」を実感することが一体となっていた花売りの経験を十分に説明しきれない概念なのかもしれません。

高度経済成長期が終わり、花卉行商は下火となりました。その後も開花シーズンには露店を開き牡丹を売っていた元花売りの方々も、高齢化で引退され、減少してきています。大根島の花売りが過去の話となりつつある今、この地域の人びとにとって花売りとは何だったのか、考えを巡らせています。



〈左から(敬称略)〉
後列：池田 均、豊島 俊、安部和子、追分久美子、安部孝兒、渡部美根
前列：柏木啓子、門脇弘子、野島京子、門脇冷子、安部明子

登場人物
豊島家(高齢の夫、妻、娘3人)
町内病院(医者、理学療法士、看護師3人)
病院待合室(患者5人)

寸劇「島弁「まめなみ」がらになーために」

《保存会会員11名》
(会長) 安部 孝兒
(会員) 門脇 弘子、野島 京子、
安部 和子、安部 明子、
門脇 冷子、追分久美子、
豊島 俊、渡部 美根、
柏木 啓子、池田 均

特集

第26回

寸 劇

「島弁保存会」の活動について

八束町島弁保存会は、25年程前に発足して以来、笑顔あふれる地域を目指して、高齢者向けの話題を中心にした寸劇活動を行っています。
現在取り組んでいる内容は、病院嫌いの高齢男性をテーマにした、「元氣な身体になるために」を島弁(まめなみ)がらになーために」で演じ、地域の皆様方が病気の早期発見、早期治療に繋がるよう活動しています。
今回取り上げた内容は、昨年从今年にかけて町内外に出かけ公演した内容です。

あらすじ

病院嫌いの豊島家ご主人をめぐるお話です。

場面 町内豊島家

ご主人は、近年高齢による物忘れがひどくなり、また家の中で転び足に痛みが出たが病院嫌いで病院へ行こうとしませんが、娘さんに説得されて渋々町内の病院へ。



豊島家(令和8年6月23日 介護老人保健施設 福寿苑)

場面 町内病院待合室

近所の患者さん5名(高齢女性)がにぎやかに話したり、介護予防に「やゝはとな体操」を皆で踊



診察室（令和8年6月23日 介護老人保健施設 福寿苑）

場面 診察室

ります。
病院の理学療法士から、やゝはと
な体操は、盆踊りの応用編で、リズ
ミカルな動きや音楽によって、脳
内のエンドルフィン物質が分泌さ
れ、痛みやストレスを和らげる効
果があると説明。

診察の結果、酒はほどほどに、検
診は毎年受診するよう指導。



聴衆のみなさん（令和8年3月21日 美保関町片江 ふれあい会館）

場面 豊島家

（娘さん） すぐに病院へ行って良
かったね。
（ご主人） もっと早く病院へ行け
ばよかった。

あいさつ

皆さんも早めに行動してくださいね。
薬もきちんと飲んでください。
健康のために適度な運動も大切で
す。

順	方	言	意	味
え	えーとしから	えーとしから	相当な年齢になつて	
	えじくらし	えじくらし	歯痒い・気持が悪い	
	えんばと	えんばと	おり悪く	
	えんき	えんき	良い天気	
	えて	えて	痛い・手拭い	
	えんな	えんな	皆	
	えらの	えらの	いらない	
	えけで・えけんで	えけで・えけんで	行けなくて・駄目で	
	えしこ	えしこ	良い具合	
	えんまね	えんまね	今に	
	えなげな	えなげな	変な・粗末な	
	えおとこ	えおとこ	美男子・男前	

○八束の方言集（一部抜粋）



閉会あいさつ（令和7年7月15日 美保関公民館）

ふ	火鉢
ふばち	火の粉
ふのこ	ひき白
ふきわーおし	額
ふたえごち	湿度がなくなる
ふからびー	度々
ふらけふちけ	一日中
ふがなえつらんち	平らな
ふらべつた	大変な
ふつごもね	

寸劇：島井「運転免許返納しーだ」

島井保存会、次のテーマは、
映画俳優「館ひろし」主演で、免
許返納が映画化されて話題となっ
ています。館さんは、1950年
生まれの76歳で団塊世代です。
一番人口の多い団塊の世代が免許
返納を考える年齢になりました。
町民の皆さん、高齢となり車の運
転に自信がなくなった方は無理を
せず、運行開始4年目の便利な「A
Iデマンドバスまつえのーと八束
」を利用しましょう。



A-I作成イラスト ※画像はイメージです

車の運転に自信がなくなった方は
AIデマンドバスまつえのーと八束を
利用しましょう！
館 ひとし

担当業務と活動状況

1. 指定管理業務（市生涯学習課所管）

公民館管理関係	担当名
① 公民館指定管理に関すること	館長
② 施設の防火関係に関すること	館長
③ 公民館運営協議会の庶務に関すること	吉野
④ 公民館の予算、決算等経理に関すること	吉野
⑤ 施設及び機材機器の整備・維持管理・貸与に関すること	宮崎・石原
⑥ 窓口業務・予約管理に関すること	宮崎・石原
⑦ 他機関との連絡・調整に関すること	吉野
⑧ 公民館の調査、統計資料等に関すること	吉野・宮崎
⑨ 文書事務その他公民館の庶務に関すること	吉野
⑩ 公印の管守に関すること	吉野
⑪ 配布物に関すること（公民館関係）	宮崎
⑫ 松江市広報（配布物）に関すること	吉野

公民館事業関係	担当名
① 広報事業に関すること	※こちらから ご覧いただけます 
・公民館報	
・公民館だより	
・ホームページ	
② まちづくり事業に関すること	館長
③ 人権事業に関すること	宮崎
④ 文化活動・伝統文化事業に関すること	宮崎 吉野 吉野 吉野
・文化祭	
・伝統文化	
・文化等講演会	
⑤ 防災事業に関すること	吉野
⑥ 青少年事業に関すること	石原 宮崎 吉野 宮崎
・青少年健全育成	
・八束っ子育成部事業	
・放課後子ども教室推進事業	
・子ども見守り活動	
⑦ 環境美化・市民憲章事業に関すること	石原 石原 全員
・かるた大会	
・クリーン八束	
・花づくり	石原 石原
⑧ 健康福祉事業に関すること	
⑨ 地域スポーツ事業に関すること	吉野
⑩ 成人講座（にんじん学校）に関すること	宮崎
⑪ 読書推進事業に関すること	宮崎
⑫ その他事業に関すること	宮崎・石原
⑬ 松東ブロック事業関係	石原 宮崎
・ジュニアリーダー研修	
⑭ 松江市公民館協議会関係	宮崎



にんじん学校・人権教育合同視察研修
「広島平和記念公園・資料館」



島弁保存会 寸劇「まめなみがらになーために」



健康長寿部「ヘルシー料理教室」



スポーツ振興部
みんなで楽しむランニング教室＋モルック

令和8年度 公民館職員の

2. 指定管理業務（市スポーツ施設課所管）

八束体育施設管理関係	担当名
① 指定管理、施設の防火関係に関すること	館長
② 予算、決算等経理に関すること	安部
③ 窓口業務・予約管理に関すること	安部
④ 体育館、テニスコート、野球場、多目的広場に関すること	安部

3. 指定管理業務以外（各種団体）

（会費徴収団体）

団体名	会長名	担当名
八束地区社会福祉協議会	門脇正志	石原
八束地区自治会連合会	渡部 浩	吉野
八束町体育協会	中村勢次郎	吉野

（その他の団体）

団体名	会長名	担当名
八束町青少年健全育成協議会	建田浩司	石原
八束地区人権教育推進協議会	吉岡敏弘	宮崎
八束地区交通安全対策協議会	門脇 篤	石原
八束地区交通安全協会	門脇 篤	石原
八束子ども安全対策連絡会・青色パトロール	竹谷文雄	宮崎
八束地区地域安全推進員会	竹谷文雄	宮崎
八束子ども広場運営委員会	松本正福	吉野
八束地区AIデマンドバス利用促進協議会	池田 均	館長・吉野
八束地区市民憲章推進協議会	池田 均	石原・吉野
島芝翫節保存会	門脇弘子	吉野
	安部満里奈	
八束島弁保存会	安部孝兒	吉野



八束っ子育成部遠足「アクアスへ行こう！」



八束っ子育成部「こども夏まつり」



文化祭「展示部門」



にんじん学校「春の寄せ植え教室」

八束公民館 職員（戦隊）紹介



安部 美代子
体育施設担当



石原 叶都
主事



宮崎 麻衣
主事

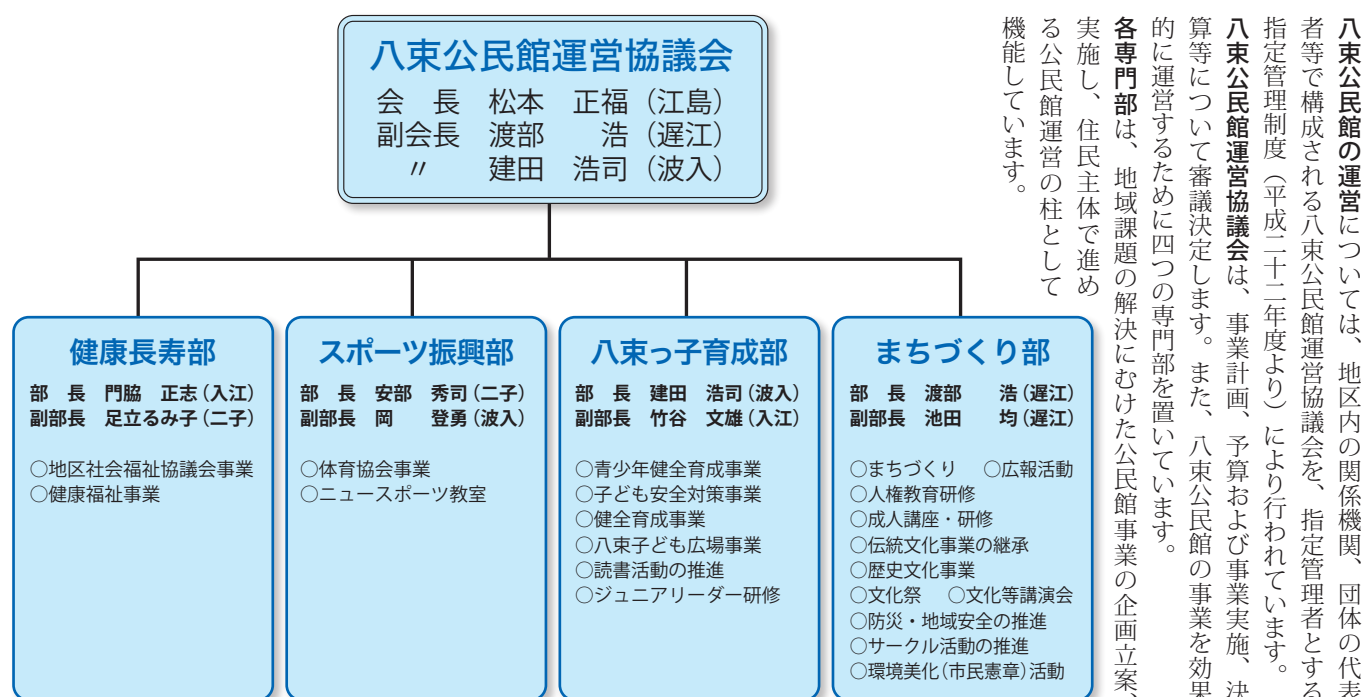


吉野 史子
主任



池田 均
館長

顧問	顧問	監事	監事	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	幹事	幹事	副会長	副会長	会長					
																			（部長）	（部長）	（部長）	（部長）						
足立利人	門脇康雄	門脇篤徳	柏木均	池田文雄	竹谷ふみ	足立子	渡部さち子	門脇冷子	豊島美紀	岡登勇	門脇英子	渡部照子	豊島豊	松本由里	吉岡敏弘	池田至郎	足立るみ子	角田由美佳	上田亜由美	松本信司	渡部寿彦	麻野克俊	紙谷秀司	安部秀志	門脇正司	建田浩司	渡部浩	松本正福



自治会連合会	会 長 渡部 浩	Aーデマンドバス 利用促進協議会
副会 長 門脇 励吉	会 長 池田 均	
〃 足立 充徳	副会 長 渡部 浩	
社会福祉協議会	〃 池田 至郎	
会 長 門脇 正志	市民憲章推進協議会	
副会 長 豊島 俊	会 長 池田 均	
〃 渡部 さち子	副会 長 渡部 浩	
体育協会	民生児童委員協議会	
会 長 中村 勢次郎	会 長 足立 るみ子	
副会 長 竹谷 広行	副会 長 門脇 政光	
〃 安部 秀司	〃 安部 敬一	
高齢者クラブ連合会	更生保護女性会	
会 長 池田 至郎	会 長 松本 由里	
副会 長 堀田 祐氏	副会 長 池田 由美子	
〃 岩田 正成	〃 渡部 さち子	
〃 後藤 葉子	松江市消防団八東方面団	
人権教育推進協議会	団 長 竹谷 眞治	
会 長 吉岡 敏弘	副団 長 中村 勢次郎	
副会 長 門脇 みずほ	〃 安部 純	
青少年健全育成協議会	交通安全協会・ 交通安全対策協議会	
会 長 建田 浩司	会 長 門脇 篤	
副会 長 竹谷 文雄	副会 長 門脇 繁	
子ども安全対策連絡会	八東学園PTA	
会 長 竹谷 文雄	会 長 足立 ふみ	
地域安全推進員会	副会 長 松本 宗六	
副会 長 渡部 昭博	〃 長友 由美	

令和7年度 八束公民館 決算書

(歳 入)		(単位：円)	
費 目		決算額	説 明
市費	指 定 管 理 料	27,156,823	人件費、管理費、事業費
	社会人権教育推進事業委託料	150,000	
地元費	公 民 館 費	565,250	各世帯より
	受 講 料	280,360	各講座受講料・参加料
	使 用 実 費	850,055	会場使用実費、印刷費、空調費等
	雑 収 入	7,230	預金利息
	繰 越 金	1,066,934	前年度より
歳 入 総 額		30,076,652	

(歳 出)		(単位：円)	
費 目		決算額	説 明
人 件 費		17,178,889	職員給料、手当、福利厚生費
管 理 費		8,067,787	複合施設等光熱水費、委託料他
事業費	総 務 部 費	306,026	広報事業、桜ライトアップ事業
	青 少 年 部 費	457,885	青少年健全育成事業、見守り活動、子ども広場
	文 化 部 費	882,319	にんじん学校、文化祭、文化講演会他
	市民憲章推進費	142,111	花づくり、環境整備事業、市民憲章かるた大会他
	社会人権教育推進事業費	208,334	視察研修、人権だより作成、人権標語募集他
	健康福祉部費	55,476	ヘルシー料理教室、そば打ち体験
	地域活動費	47,804	サークル活動推進、スポーツ教室
	読 書 活 動 費	393,885	新刊図書・図書消耗品代、図書システム経費他
	研 修 活 動 費	992,000	運協連・館長会負担金、各種研修参加経費等
	総 合 補 償 費	226,000	行事傷害補償、賠償責任補償、職員災害補償
歳 出 総 額		28,958,516	

差引残額 1,118,136

令和8年度 八束公民館 予算書

(歳 入)		(単位：円)	
費 目		予算額	説 明
市費	指 定 管 理 料	26,118,965	人件費15,931,413、管理費7,473,832、事業費2,713,720
	社会人権教育推進事業委託料	150,000	令和8年度委託料
地元費	公 民 館 費	565,250	各世帯より
	受 講 料	280,000	各講座受講料・参加料
	使 用 実 費	770,000	会場使用実費、印刷費、空調費等
	雑 収 入	7,062	預金利息等
	繰 越 金	1,118,136	前年度より
歳 入 総 額		29,009,413	

(歳 出)		(単位：円)	
費 目		予算額	説 明
人 件 費		15,931,413	職員給料、手当、福利厚生費
管 理 費		9,161,000	複合施設等光熱水費、委託料他
事業費	総 務 部 費	310,000	広報活動、桜ライトアップ事業
	青 少 年 部 費	460,000	青少年健全育成事業、見守り活動、子ども広場
	文 化 部 費	883,000	にんじん学校、文化祭、文化講演会他
	市民憲章推進費	147,000	花づくり、環境整備事業、かるた大会他
	社会人権教育推進事業費	230,000	視察研修、人権だより作成、啓発活動
	健康福祉部費	60,000	ヘルシー料理教室、そば打ち体験
	地域活動費	60,000	スポーツ活動、サークル活動推進
	読 書 活 動 費	400,000	図書購入代、図書コーナー整備経費他
	研 修 活 動 費	1,135,000	運協連・館長会負担金、各種研修負担金等
	総 合 補 償 費	232,000	行事傷害補償、賠償責任補償、職員災害補償
歳 出 総 額		29,009,413	

差引残額 0

[所管：市教育委員会生涯学習課]

令和7年度 八束体育施設 決算書

収入の部		(単位：円)	
費 目		決算額	説 明
市費	指 定 管 理 料	11,230,000	松江市委託料
	利用料(体育館)	1,866,710	施設利用実費
地元費	利用料(野球場)	481,200	施設利用実費、照明
	利用料(多目的)	1,740	施設利用実費
	利用料(テニスコート)	525,450	施設利用実費、照明
雑 収 入		303,658	自動販売機電気代、使用料、利息、他
合 計		14,408,758	

支出の部		(単位：円)	
費 目		決算額	説 明
人件費	給 料	3,978,310	臨時職員給料、パート職員賃金、社会保険料、労働保険料
	消 耗 品 費	219,261	申請書、トイレットペーパー、コートブラシ、防風ネット、アンテナ、事務用品、他
管理費	燃 料 費	53,949	ガス代、ガソリン代
	印 刷 製 本 費	13,304	印刷代
	通 信 運 搬 費	78,513	携帯、電話料金
	光 熱 水 費	4,528,366	施設（電気・水道・下水道）
	修 繕 費	709,041	消防設備不備修繕、体育館更衣室タイル修繕、女子トイレ手洗器排水管修繕、体育館屋上箱樋清掃、運動場地震修繕、テニスコート電灯盤配管修繕、他
	使用料及び賃借料	344,403	マット・モップリース料、公用車リース料、パソコンリース料
	保 険 料	158,720	施設保険
	原 材 料	108,020	野球場用補足土
	委 託 料	3,785,100	除草業務、昇降機保守、機械整備、電気保守点検、清掃業務、浄化槽維持管理及び清掃、他
	自動販売機電気料	157,754	電気料
	自動販売機等設置使用料	139,107	設置使用料
	手 数 料	56,860	公用車点検料金
	自 動 車 保 険 料	78,050	公用車保険料
合 計		14,408,758	

差引残額 0

令和8年度 八束体育施設 予算書

収入の部		(単位：円)	
費 目		予算額	説 明
市費	指 定 管 理 料	10,763,000	松江市委託料
	利用料(体育館)	1,600,000	施設利用実費
地元費	利用料(野球場)	644,000	施設利用実費、照明
	利用料(多目的)	6,000	施設利用実費
	利用料(テニスコート)	450,000	施設利用実費、照明
雑 収 入		286,000	自動販売機電気代、使用料、利息
合 計		13,749,000	

支出の部		(単位：円)	
費 目		予算額	説 明
人件費	給 料	4,230,000	臨時職員、パート職員、社会保険料、労働保険料
	消 耗 品 費	121,000	事務用品、施設消耗品等
管理費	燃 料 費	75,000	ガス代、ガソリン代
	印 刷 製 本 費	10,000	印刷代
	通 信 運 搬 費	83,000	電話料金、携帯電話料金
	光 熱 水 費	4,127,000	施設（電気、水道、下水道）
	修 繕 費	200,000	施設修繕
	使用料及び賃借料	347,000	マット・モップリース料、公用車リース料、パソコンリース料
	保 険 料	156,000	施設保険
	原 材 料	70,000	補足土購入等
	委 託 料	3,930,000	除草業務、電気保安業務、昇降機保守点検業務、機械整備、他
	自動販売機電気料	155,000	電気代
	自動販売機等設置使用料	130,000	設置使用料
	手 数 料	35,000	公用車点検整備料
	自 動 車 保 険 料	80,000	公用車保険料
合 計		13,749,000	

差引残額 0

[所管：市文化スポーツ部スポーツ施設課]

中村元博士が残した 『慈しみあふれる言葉』を紹介します②

松江市出身でインド哲学・仏教学の世界的権威、中村元博士が残した慈しみあふれる言葉を、八東町中央の「八東複合施設」正面玄関東横にある掲示板で毎月紹介します。掲示内容は「中村博士自身が述べた言葉」の中から、中村元記念館の加藤千乃学芸員が選び、公民館で書道を学ぶ「中央書道サークル（橘淳子代表）」のメンバーが中心となって毛筆でしたためます。



左 ヤシャワント・デグ・パンワール インド大使館科学技術担当参事官
中央 ナグマ・M・マリック 駐日インド大使
右 チャンドル・アッパル 在大阪・神戸インド総領事

令和八年四月掲示

中村元のことば
温和

【出典・解説】

中村元博士が中学一年時に書いた作文の中の言葉。
「...けれども我等の生存には一定した道があるに違いない。天然自然の道、即ち道徳がある。（中略）桜はこの自然の道を最もよくかなうて居るのではないか。咲くべき時が来たならば咲き散るべき時が来たならば散る。未練もなければ執着もない。加うるに桜の色は温和である。温和は平和を生ずる。若し人々がこの桜のようにしたら、欧州大戦もなく国際連盟もいらなくなるは愚か六法を始めとして、面倒な法律命令はなくなるであらう。実に桜は、世界一の花である。」

（中村元『作文集 第一巻 自大正十四年九月一日』収録「四月六日 桜」より。）

令和八年五月掲示

中村元のことば
万物の調和

【出典・解説】

中村元博士が『人生を考える』の「自然について」の中で述べた言葉。
「...今後は、むしろ自然と一体となり、平和な生活を営むには、万物の調和ということが必要である。いかなるものでも人間と関係を持つている、その道理を認めて、現実生活を肯定する、絶対の世界というものを現実の生活から離れたところに求めようとはしない。絶対のものはどこにあるのか、これはわれわれが生きている現実の領域にある。」

（中村元『人生を考える』より。）

令和八年六月掲示

中村元のことば
主体性の確立

【出典・解説】

中村元博士が原始仏教聖典「真理のことば」、『ダンマパダ』を紹介した中の言葉。
「自分で自分を励まし、努力しなければほんとうの自分というものは出てこないでしょう。つまりばやっとしてしまうと、人間はあつちへ行こうかこつちへ行こうか、いろいろ迷うわけです。そこで自分の正しい生き方はこうでなければならないと思つて、そこで自分を励まして、その大きな目的に向かって進むというわけです。だからここにも、いわゆる主体性の確立ということが明示されているわけです。」

（中村元『原始仏典』より。）

令和八年七月掲示

中村元のことば
死を克服する

【出典・解説】

現存最古の仏教経典『スッタニパータ』の教えを中村元博士が解説した中の言葉。
「...生理現象としての死というものは、これはだれでも迎えないければならないものです。避けることのできないものです。けれどもそれを因縁によるものと明らかに見えることによって、われわれの死に対する対処の仕方というものが成り立つわけでしょう。そこに死を克服する道があるわけです。（中略）生きながら死を克服するのです。」

（中村元『原始仏典』より。）

あとがき

大根島シリーズ②

島弁「どんぶー（風呂）」

昭和30年頃の五右衛門風呂。

毎晩、明治生まれのオジジ（祖父）と一緒に、アチ

（高温）一番風呂に。

《祖父》フトシ（ヒトシ）、どんぶー（風呂）にひやーぞ（入る）。

《孫・ヒトシ》オジジ、先にひやっちょくわ。6

歳の孫は母屋で、はだかんばら（素っ裸）になり、

かけらかいて（走って）どんぶーへ。

孫は、風呂釜に浮かぶ

木製のさな（底蓋）に乗り、湯船に浸るが、熱くなった

内釜に肌が触れ、その熱さに釜から飛び出る。

《祖父》アチかったか？ちよっと待つとれ、オラがひやって、さまし

ちやーわ。

オジジが熱い湯船に肩まで浸ると、湯が溢れ出て、水を足すと、湯加減が

えして（ベスト）に。

（池）